取扱説明書 NS-P39VIRC Ⅱ

137 万画素バリフォーカル暗視カメラ

Ver.1503

目次

1．安全のための注意

**ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に
防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。**

■正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの (DC12V) を供給する電源に
　この製品を接続すると製品に損傷を与えます。
■カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。
■濡れたままで、または埃をかぶった状態で使用しないでください。
　製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する
　危険があります。
■本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
■製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は
　直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
■分解・改造などは故障の原因となり、また保証対象外となります。
■製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶつけたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
■万一、通常の使い方で故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
■カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでの使用は
　避けてください。
■ VP 多重電源機器とは接続できません。接続した場合内部回路が破損するおそれがあります。
■本製品を設置する時以外は、フロントカバーを開けないでください。
　また設置時にフロントカバーを開ける場合は雨の日など湿度の高い日を避け、
　できるだけ短期間に作業を完了させてください。
　※フロントカバーを開けた時に製品内部に湿気が入り、結露現象（レンズの内側に曇りが発生）
　　が起こる原因になります。

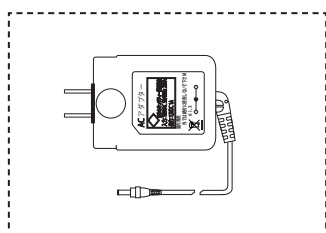
2．免責事項

■本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用
　できませんのでご注意ください。
■雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、
　お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および
　損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、
　または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせて
　いただきます。
■本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。
　弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。
　修理、設定、などについてはセンドバック方式にて対応させていただきます。

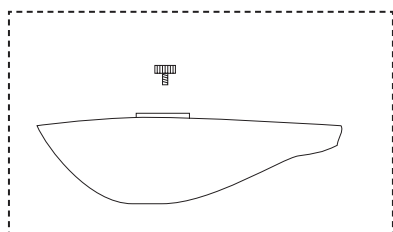
2．付属品

ーカメラ本体（NS-HD810IRMPX）　ー取扱説明書（本書）　ーＬレンチ　2.5mm
ー AC アダプタ　ー DC12V/1A　ー点検用プラグ　ーカメラフード・固定ネジ
ー固定用ネジ、アンカー

ー　取扱説明書（本書）

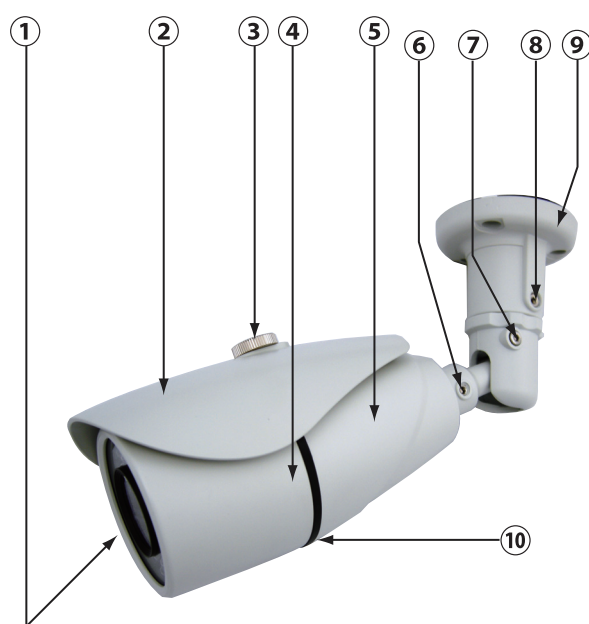
ー　AC アダプタ　DC12V/1A

※付属 AC アダプタのケーブル長は約 1.8m です。
カメラ近くに AC100V コンセントがない場合は、
本 AC アダプタの DC プラグを元で切断し、
Φ 0.9mm 以上の 2 芯電源線（OP0.9 × 2 芯など）
を使用し延長することで、離れた AC100V
コンセントから電源供給をすることができます。
（2 芯電源線で中継する場合は、極性があります。
プラス / マイナスを正しく接続してください）

ー　カメラフード・固定ネジ

※カメラレンズ部分に直射日光が当らないよう、
庇として取り付けます。
P8 を参照し位置を決めて取り付けてください。

ー　点検用映像プラグ

カメラ映像をアナログ信号（TV などで映る信号）に変更して
出力します。画角確認等の際に使用します。
接続場所は（P6）を参照してください。

3. 各部名称

図１.全体

① WINDOW　カバー
② フード
③ フード固定ネジ
④ フロントカバー
⑤ 本体
⑥ 回転方向固定ネジ
⑦ 垂直方向固定ネジ
⑧ 水平方向固定ネジ
⑨ マウントベース
⑩ 防水ゴムパッキン
⑪ SDI用映像端子
⑫ RS-485端子
（※通常は使用しません）
⑬ 電源端子

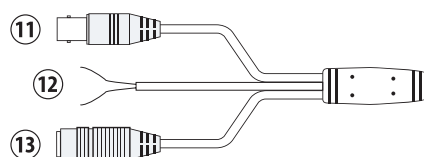
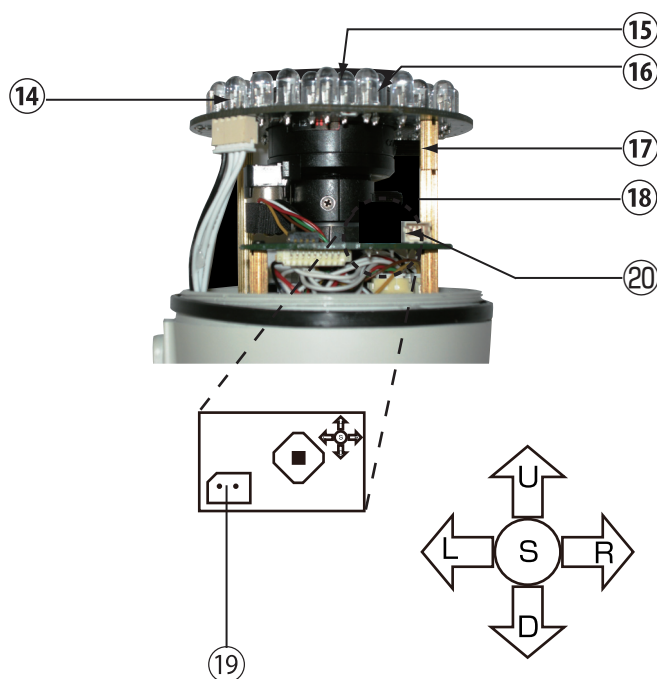



図２.面部　内部

⑭ 赤外線LED(×36）/
CDSセンサー
⑮ レンズ
⑯ レンズフード
⑰ ズーム調整ノブ
⑱ フォーカス調整ノブ
⑲ 点検用映像プラグ接続端子
⑳ 設定用ボタン

ボタンは中心を押すことで「S」、各方向は
ボタンを倒して選択します。
「S」＝決定
「U」＝カーソルなどを上へ移動
「D]＝カーソルなどを下へ移動
「L」＝左へ移動、または設定値変更
「R」＝右へ移動、または設定値変更

４. 設置操作

１）マウント・ベースのネジ穴用に合わせて付属のネジを使用し、
　３ヶ所をしっかりと天井壁面等に固定してください。
（コンクリートに固定する場合は、市販のコンクリート用アンカーを使用願います）

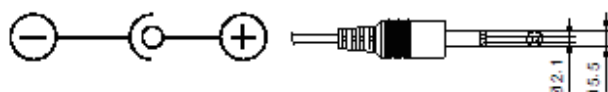
※落下事故を防止するために、設置時及び経時的にぐらつき等固定部の強度に問題がある場合は、
すみやかに取付けをやり直してください。

２）下記の図を参照し、カメラ方向を調整します。

Ⅰ方向：カメラ側の垂直確度を決めて、⑦のネジで調整、固定します。

Ⅱ方向：カメラ側の回転角度を決めて、⑥のネジで調整、固定します。
（壁面に取付ける場合は、180°カメラを回転させて固定します）

Ⅲ方向：カメラの水平角度を決めて、⑧のネジで調整、固定します。

３）電源接続
カメラは DC12V/1A で正常に作動しますので、
付属のアダプター（DC12V/1A）でのご使用をお願いします。

４）カメラレンズ面のガラス保護シートをはがしてください。

※設置時にフロント・カバーを長時間開けたままにすると、内部の結露の原因になります。設置する時にはフロントカバーの開ける時間をなるべく短くしてください。

※雨天においてフロントカバーを開けることは厳禁です。

※内部の乾燥材は外さないでください。

1）フロントカバーを開けます。

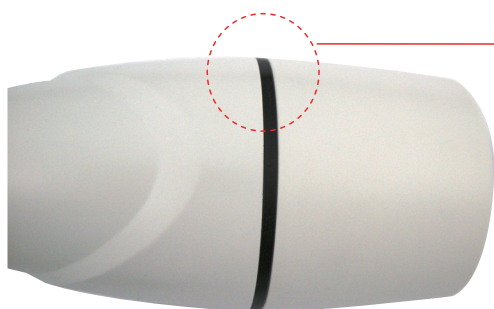
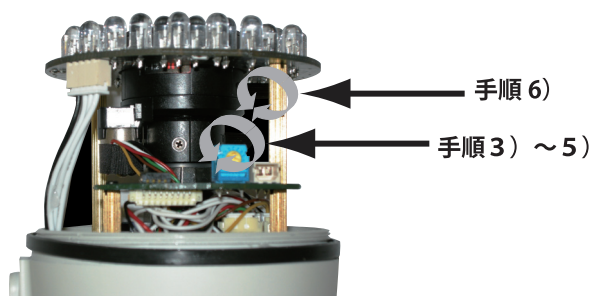
2）取り外したフロント・カバーは水気やホコリがない安全な場所で保管してください。

3）ズーム・ノブを反時計方向に回して緩めてください。
（固い場合はドライバーを使用してください）

4）ズーム・ノブを左右に調整してズームを合わせます。　（Wide　⇔　Tele）

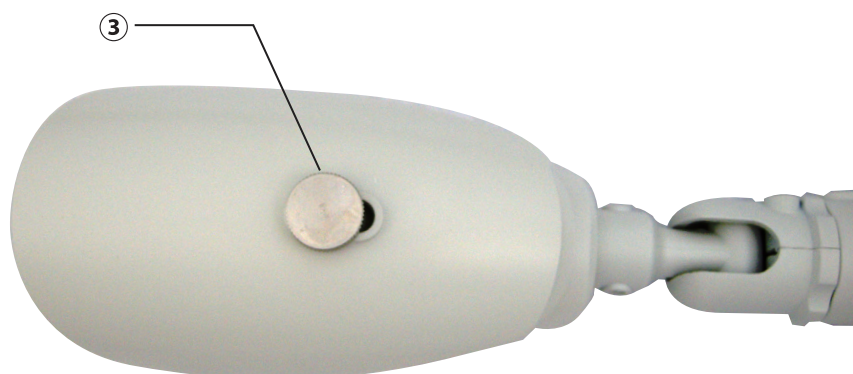
5）ズーム・ノブを時計方向に回して固定します。

6）ズーム・ノブと同様の手順でフォーカス・ノブを回してフォーカスを合わせます。

7）フロントカバーを閉じます。

④フロント・カバーを閉じる時は
⑩ゴムパッキンが外れないように
適度な強さで閉めてください。

完全に密封されないと内部に湿気が
入り込み結露現象の原因になります。

カメラを強い太陽熱から保護するためにフードをつけてください。

フードを固定する時には、強い風にもフードが外されないように
③フード固定ネジ（P４ 参 照 ） でしっかり固定して下さい。

一般的にはフードを設置する場合、③フード固定ネジをネジ穴の真ん中で固定しますが、
映像の画角に合わせてフードを前後に調整して設置することができます。

※映像に影が入りこむ場合や、夜間赤外線がフードに反射して映像が全体的に白くなる
　場合は、フードを後ろ下げて設置してください。

本製品：NS-HD810IRMPX をポールに取付ける場合に使用します。

ポール取付金具　L-800P
外形寸法）　180(W)×140(H)×70(D)mm
重量）　830g
適応ポール径）　Φ70 ～ 300mm
※ステンレスバンドは付属しておりません。

5. 設定画面

○メニュー画面の設定は本体カバー内部の設定ボタン（P5 参照）で操作します。
○設定ボタンの中央「S（中央)」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
○カーソルを移動させる場合はボタンを「U（上)」「D（下)」へ倒してください。
○設定項目や数値を変更する場合は、「L（左)」「R（右)」へ倒してください。
○項目を決定する場合は「S（中央)」を押します。
○「↵アイコン」のある項目は次画面があります。「決定ボタン」で次画面へ移動します。
○前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「S（中央)」を押します。
○設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

1.レンズ	DC
2.露出補正	↵
3.逆光補正	オフ
4.ホワイトバランス	ATW
5.デイ＆ナイト機能	EXT
6.NR	↵
7.スペシャル機能	↵
8.調整	↵
9.リセット	↵
10.戻る	↵

1. レンズ －－－－－－－DC で使用してください。

2. 露出補正 －－－－－－－設置環境によって明るさの設定を行います。

3. 逆光補正 －－－－－－逆光時の補正について設定します。

4. ホワイトバランス －－映像の色味について調整します。

5. デイ＆ナイト機能 －－昼夜の映像について設定します。

6.NR －－－－－－－－－－ノイズ除去設定を行います。

7. スペシャル機能 －－－カメラ名などの設定を行います。

8. 調整 －－－－－－－－映像表示について設定します。

9. リセット －－－－－－－カメラ設定を初期化します。

10. 戻る －－－－－－－－設定を終了します。

5-1　レンズ

「DC モード」（初期値） での使用を推奨します。次画面で使用される環境を 1. モード「屋外 / 屋内」から選択します。
※アイリスの設定を手動で行う場合には、「P-IRIS」を選択します。次画面でアイリスのモードやレベルをその場に合わせて設定します。
マニュアル、ビデオは使用しません。

5-2　露出補正

設置した箇所の光量に応じて設定を変更する必要がある場合に選択します。光量が多い、少ない、によって映像が見づらくなる場合はシャッター速度などを変更してください。
※設定は昼夜問わず補正を行いますので、実際の光量の状態で設定を行ってください。

シャッタースピード - - シャッター速度は初期値の「オート」で使用してください。
「オート」で適応できない環境下の場合は、速度を「1/30 ～× 30」で使用してください。50Hz 地域での蛍光灯下使用時は、「FLK」を選択してください。フリッカ（明滅）を軽減します。

AGC - - - - - - - ゲイン値を上げることで映像が明るくなりますが、ノイズも増えます。
実際の映像を確認して設定してください。「0 ～ 15（初期値）」の間で設定します。

SENS-UP - - - - - - 低照度時の感度を上げ、映像を明るくします。ノイズやゴースト（動体の残像）が強くなるため、使用時の映像を確認しながら設定してください。
初期値は「オフ」です。「オート」を選択して、次画面で数値を「2 ～ 8（初期値）～ 30」の間で設定できます。
※シャッター速度を「オート、1/30」以外の設定では選択できません。

明るさ - - - - - - - 映像の輝度を「0 ～ 30（初期値）～ 100」の間で設定します。
輝度を一定に調整するため、昼夜の明るさの違いにご注意ください。

D-WDR - - - - - - - 逆光時の明暗差を少なくする補正を行います。「オン / オフ」から選択してください。

- - - - - - - -

DEFOG - - - - - - - 曇り状態や逆光の強い状態での映像に対して補正を行います。

戻る　前画面に戻ります。

5-3　逆光補正

逆光の強い環境下の場合に補正を行います。逆光状態での設定を推奨します。
初期値では「オフ」になっています。

WDR－－－－－－－ 逆光時の明部（背景）と暗部（手前などの黒潰れ）の明暗差を補正しどちらも見えるように補正します。次画面では「ゲイン（低 / 中 / 高)」＝補正の強さ　と、「WDR OFFSET（0 ～ 60)」＝明暗の差の数値を調整します。実際の映像を見ながら設定してください。

BLC －－－－－－－ 逆光時に手前の暗部の映像を見やすくするように全体の明るさを強めます。
次画面では、ゲイン（低 / 中 / 高)」＝補正の強さ　と、光源のエリアやサイズを設定します。

※エリア設定
① 「S」ボタンで設定画面を表示します。
② 「POSITION」で光源の位置を枠内に収めます。次に「S」ボタンを押します。
③ 「SIZE」ではエリアの大きさを上下左右のボタンを使用して設定します。
④完了したら「戻る（選択中は点滅)」を選択するか、「再試行（POSITION に戻る)」を選択してください。

前画面の「3. 初期化」を選択することで、この設定のみ出荷時に戻します。

HSBLC－－－－－－ 逆光時の光源を黒く塗りつぶすことで見やすくします。
次画面ではエリアと塗りつぶしの強さを設定します。

1. 選択　＝補正エリアを 1-4 の間で個々に設定します。
2. 表示　＝補正の表示を「オン / オフ」設定します。
3. レベル＝塗りつぶしのサイズを「0（黒広い）～ 20（初期値）～ 100（黒狭い)」の間で設定します。
4. モード＝補正時を「終日 / 夜のみ」から選択できます。
5. ブラック＝塗りつぶし表示を「オン / オフ」選択します。
マスク
6. 初期設定＝ HSBLC 画面内の設定のみ初期化します。

5-4　ホワイトバランス

光の色味の変化について設定します。光の種類に応じて設定します。

ATW－－－－－－－ 初期値での使用を推奨します。光源（太陽など）による白色を基準とした色の変化がある場合のみ、この設定を変更します。

AWC ⇒ SET－－－－「S」ボタンを押した瞬間の色味を基準とします。光源が一定の環境下でのみ使用します。

屋外 / 屋内 －－－－ 設置場所に応じて選択します。

マニュアル－－－－－ 屋内 / 屋外設定でも補正しきれない色味の場合に､｢青｣ と ｢赤｣ の数値を調整します。
｢0 ～ 50（初期値）～ 100｣ の間で設定します。実際の映像を見ながら数値を変更してください。

AWB －－－－－－－－ ATW と同様の機能です。ATW での補正が合わない場合に選択してください。
※基本的には ATW で使用してください。

5-5　デイ&ナイト機能

昼 / 夜のモード切替について設定します。初期値は EXT となっています。または「オート」を選択してご使用願います。

EXT －－－－－－－－ 基本的な機能では初期値で使用してください。次画面ではスマート IR 機能を設定できます。IR の拡散機能をオン / オフ選択できますので、夜間赤外線照射時に設定してください。

オート－－－－－－－－ 昼 / 夜の切替時間を調整する場合に選択します。

1.DELAY ＝昼 / 夜モードの切替り時間を ｢0 (短い) ～ 5 (初期値) ～ 60 (長い)｣ の間で設定します。

2.D ➡ N（AGC ＝）昼 / 夜モードの切替わり光量を「0（明るい）～ 80（初期値）～ 60（暗い)」の間で設定します。数値を下げることで明るい状態から夜モードへ切り替えることができます。

3.N ➡ D（AGC ＝）夜 / 昼モードの切替わり光量を「0（明るい）～ 30（初期値）～ 60（暗い)」の間で設定します。数値を下げることで明るい状態から昼モードへ切り替えることができます。

カラー－－－－－－－ 昼モード（カラー）の状態に固定します。赤外線は照射されます。

白黒 －－－－－－－ 夜モード(白黒)の状態に固定します。赤外線は照射されます。また次画面では､｢EXT｣と同じ選択画面を持っています。

5-6　NR

低照度時のノイズを提言します。ノイズが気になる映像の時に設定します。昼夜共にノイズが気にならない場合には使用しません。初期値は「オン」になっています。ノイズ補正が有効である場合、明るさが低減する場合もあるので、次画面で「オン / オフ」の選択を行います。

2DNR = 「オン / オフ」を選択します。

3DNR = 「オン / オフ」を選択します。｢オン｣ 選択時には次画面で補正のレベルを設定できます。

5-7　スペシャル機能

次画面で言語設定、カメラ名設定などを行います。

カメラタイトル － － － 個々のカメラ毎のカメラ名を表示させます。「オン」に選択し、次画面で文字の設定を行います。「0 ～ 9、A ～ Z、記号」を、最大 15 文字選択できます。

➡＝カーソルを移動させます。

CLR ＝入力した文字を全て消します。

POS ＝「S」ボタンで次画面へ移動し、上下左右の文字の位置を設定します。

END ＝入力を完了します

D-EFECT － － － － － デジタル処理で映像加工して表示します。

1. フリーズ＝「オン」を選択した瞬間の映像を静止画として表示します。

※「オフ」を選択しない限りメニューから出ても戻りません。

2. ミラー＝画像を回転します。「オフ」が正位置です。

ミラー：垂直左右反転　　V-FLIP：水平上下反転

回転：上下左右それぞれ反転した状態になります。

3. デジタルズーム：「オン」を選択し次画面で「× 2.0（初期値）～× 62.0」の間で設定します。デジタル処理のため、解像度は低くなります。

拡大する場所は「2. パンチルト」画面内で上下左右の設定を行います。

4.SMART D-ZOON：使用しません。

5.NEG.IMAGE：使用しません。

6.DIS：使用しません。

動き検知 － － － － － 動体を検知した際に画面に「動き検知」という文字を表示します。文字表示のみのため、録画の入り切りなどには影響しません。必要に応じて設定を行ってください。

※設定手順

1. 検知させたい範囲を初期値の 1-4 から選択します。

2. 表示の「オン / オフ」で検知の有効 / 無効を設定します。また ON の状態で次画面へ移動し、エリアの位置とサイズを設定します。

※エリア設定

①「S」ボタンで設定画面を表示します。

②「POSITION」でエリアの位置を枠内に収めます。次に「S」ボタンを押します。

③「SIZE」ではエリアの大きさを上下左右のボタンを使用して設定します。

④完了したら「戻る（選択中は点滅）」を選択するか、「再試行（POSITION に戻る）」を選択してください。

3. 敏感度、モーションビュアー（検知時のモザイク状の状態表示）を設定します。画面をみながら、感度を調整します。

4. 設定が終わったら、前画面を戻ります。初期設定ではこの設定内容のみ初期化します。

プライバシーマスク－ －撮影したくないエリアにマスクをかけます。色塗りつぶしやモザイクの表示が選択できます。

※設定手順

1. 検知させたい範囲を初期値の 1-8 から選択します。

2. 表示方法を選択します。

オフ＝マスク非表示（初期では全て表示）

COLOR ＝色塗りつぶし。次画面でマスクのサイズを設定します。

MOSAIC ＝モザイク表示をします。

INV. ＝マスクをネガ表示します。

※各画面では、マスクのサイズを設定できます。次画面で下記手順を行い、マスクのサイズを変更してください。

※マスクサイズ変更手順

① S」ボタンで設定画面を表示します。

② POSITION」で光源の位置を枠内に収めます。
次に「S」ボタンを押します。

③「SIZE」ではマスクのの大きさを上下左右のボタンを使用して設定します。
設定は、マスクを囲む 4 点のポイントを動かすことで大きさを変更します。
「S」ボタンでポイントを切り替え、上下左右に移動させます。

④完了したら「戻る（選択中は点滅）」を選択するか、「再試行（POSITION に戻る）」を選択してください。

3. カラーでは色を 15 種類から選択できます。

4.TRANS. では色の濃さを「0（透明）/1（50%）/2（100%）」の濃度に設定できます。

5. 設定が終わったら、前画面を戻ります。初期設定ではこの設定内容のみ初期化します。

言語選択 － － － － － JPN で使用してください。

欠陥画素補正 － － － － 欠陥画素（ドット落ち）が発生した際の補正について修正します。
初期値で補正は「オン」になっていますので、そのままご使用ください。
ドット落ちが発生した際には、次画面で「スタート」選択し、「S」ボタンを 2 度押すことで、補正が開始されます。設定画面に戻るまでしばらくお待ちください。

RS485 － － － － － － RS485 信号によるカメラの制御を行います。メニュー設定のみ対応しているため、必要である場合にのみ設定してください。また、設定はコントローラー側の「ID/BAUDRATE」と数値を合わせてください。

VERSION － － － － － 現在のバージョン情報です。ご確認ください。

5-8　調整

次画面で映像表示について設定します。

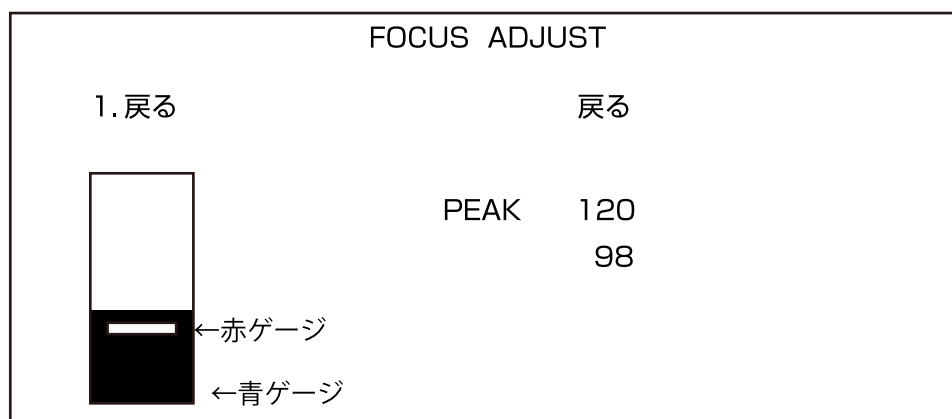
シャープネス－－－－輪郭を強調します「0～8（初期値）～15」の間で設定します。

モニター　－－－－－「LCD（液晶）」のまま使用してください。次画面ではモニター表示について細かい設定があります。青みやゲインを設定できます。

レンズシェーディング補正－－映像を立体的に見せるよう明暗を強調します。通常は使用しません。

CVBS CROP　－－－使用しません。

VIDEO.OUT－－－－出力方式を「NTSC/PAL」に選択します。「NTSC」で使用してください。

FOCUS ADJUST－－現在のピントが合っているかどうかガイドを表示します。
「S」ボタンで移動、戻るを操作します。

※ピントを調整していくと、「PEAK」の数値に近づいていきます。
同時に赤ゲージが青ゲージの上端へ近づきます。この状態がピントが合った状態となるので、最も近い状態でピントを固定してください。

5-9　リセット

カメラの設定値を初期化します。「S」ボタンで実行します。「言語」以外の設定数値が初期化されます。

5-10　戻る

設定を終了し、設定画面を閉じます。

保　証　書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を
設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を
期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に
故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
（修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります）

1.本保証書がない場合

2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、
　または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。

3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合

4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷

5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、
　外部に原因がある故障および損傷である場

6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

●保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの
　対象となります。

●お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した
　場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
　（送料については弊社負担とさせていただきます）
　ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、
　初期不良交換サービス対象とはなりません。
　また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が
　揃っていることが条件となります。

●弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。

●弊社ではセンドバック（先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、
　弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する）方式でのみ、
　対応を行っております。

●修理費用については代理販売店や購入店を通しての対応となります。

⚠ 注意

■電源は家庭用AC100V（50Hz/60Hz）のコンセント以外で使用しないでください。また、
　タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。

■必ず付属のACアダプターを使用してください。

■ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
　重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の
　原因となります。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。
　異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
　すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

■動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。

■本器を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
　また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

■長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■落雷の恐れがある場合は、すみやかに本器を停止させ、コンセントからACアダプターを
　抜いてください。（停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で機器が故障する
　場合があります。

■本器を次のような場所での使用や保管はしないでください。
　●直射日光のあたる場所　●特に高温低温になる場所　●温度変化の激しい場所
　●振動の多い場所　●油煙、湯気、湿気があたる場所　●静電気が多く発生する場所
　●強い磁気や電磁波が発生する装置（発電機やアンプ）が近くにある場所
　●機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所

■本器を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態に
　なってから配線を抜いて下さい。

■金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が
　要求される用途には使用しないでください。

⚠ 録画機についての注意

■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■本器の通風孔をふさがないでください。
　内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
　内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。

■3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
　なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。

■主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な
　媒体ではありません（消耗品扱いとなります）。
　次の留意点踏まえたうえでご使用ください。
　●衝撃、振動をあたえないでください。　●電源の入切りを頻繁に行わないでください。
　●推奨環境:周辺温度25℃以下　●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を
　　推奨します。
　●録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。

■本器の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が
　発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

●本器の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、
　第三者による妨害行為などの
　要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、
　当社は一切その責任を負いかねます。

●通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害に
　つきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

●本器のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での
　参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
　また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。

●ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては将来予告なく
　変更されることがあります。

●ソフトウェア（ファームウェア）、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、
　お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
　内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。

●一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、
　通信事業者との契約が必要となります。

●通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の使用率
　などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の
　導入に際して契約内容などをご確認ください。
　このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
　通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますので
　ご了承ください。

●公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、
　サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情による
　サービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合も
　ありますので、あらかじめご了承願います。

●本器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

●本器及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、
　別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
　また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

●お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、
　不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。

●お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の
　故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。

●製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害
　（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、
　また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、
　弊社では一切責任を負いません。

●製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、
　弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in japan.

製品保証書

※保証期間		ご購入日　　年　　月　　日　より　**1 年間**
製品型番		**NS-P39VIRCⅡ**
※製造番号 シリアル NO.		
お客様 連絡先	お名前	
	ご住所	
ご購入 代理店様 所在地		

株式会社ＮＳＫ
〒461-0043 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15
TEL:052-726-5296 FAX:052-726-5297
電話受付：月～金曜日、9：00 ～ 12：00
　　　　　　　　　　　13：00 ～ 18：00
※祝祭日、弊社指定休業日を除く
弊社 HP：http://www.n-sk.jp
お問合せ Mail：hp@nsk-sec.co.jp